

おぐい

● 広報



— 技を伝え、継ぐ —

毎年恒例となったつる細工講習会が、1月23日から25日まで、梅花皮荘で開催された。今年で37回を数え、遠くは神奈川県など町内外から36人が参加。初心者から上級者まで腕前はそれぞれだが、参加者同士で教え合いながら技術を向上させた。山の暮らしの中で紡いできた技がこうして全国各地に広がっている。

2019

2

No.772



看護学生が見た小国の医療と福祉

～人と人、人と地域のつながりで支え合う暮らし～

▲まちかど医療相談室では参加者と研修医や町立病院看護師などが日頃の悩み相談や情報交換もしている

少子高齢化が進む小規模自治体の医療や看護、介護の現場を学ぶため、本町には多数の教育機関や医療機関から未来の医師や看護師たちが訪れています。そして、昨年、町立病院などで実習を経験した看護学生が、本町を研究フィールドとして卒業研究を行っています。今回は、看護学生が見た小国町の医療福祉の体制や特徴的な取り組みを紹介します。

県立保健医療大学と 小国町

研究しているのは、山形県立保健医療大学の学生で、同大学は、「幅広い教養と豊かな人間性を備え、高度な知識と技術を持ち、専門職としての理念に基づき行動できる人材を育成するとともに、地域に開かれた大学として保健医療に関する教育・研究の成果を地域に還元し、もって、国民の健康と福祉の向上に寄与する」ことを目的に、平成9年4月に山形県立保健医療短期大学としてスタートし、平成12年4月に山形県立保健医療大学に改編されました。

同大学と本町では、学生の実習受け入れや同大学が設置する看護実践研究センターの「地元ナース」の取り組みなど、さまざまな形で連携を深めてきました。

こうした中、昨年6月25日から7月5日までの2週間、



▲五十嵐崇登さん(右)と
指導教員の山田香さん(左)

同大学保健医療学部看護学科4年生の五十嵐崇登(いがらしたかと)さん(鶴岡市出身)が、小国町立病院での看護実習を行いました。これは、同大学の「総合看護学実習Ⅰ」というカリキュラムで、4年生の必修科目となっており、学生が学びたい分野等に応じて県内各地の病院に出向いて行われています。

五十嵐さんは、成人慢性期看護学領域の地元医療福祉コースを選択し、指導教員との相談のうえ、小国町立病院での実習が決まったそうです。

実習期間中には、町立病院での慢性疾患や認知症を抱える患者と家族の看護や、病棟合同カンファレンスの見学、訪問看護への同行、まちかど医療相談室への参加のほか、温身の郷での看護実践や利用者とのコミュニケーション、健康管理センターでの町内介護施設・事業所との連携などを学びました。また、当該カリキュラムの目的でもある「小規模病院等における看護実践を通して、看護実践能力の向上をはかり、将来、保健

医療福祉チームにおける看護専門職としての役割と責任を理解し、実践者として基礎的能力を養う」ため、地域の中で慢性疾患を抱えた人がどのようにに生活し、そこに医療職の人がどのように関わっているのかを実際に目で見て、体験しながらさまざまな経験を積まれました。

五十嵐さんは、各種実習や研究で本町を訪れ、小国の地域特性や医療福祉体制、町民同士のつながりに着目して小国町を研究フィールドとして卒業研究をされています。

五十嵐さんは、「これから小国町を支える若者がこの町で暮らすことか」と題し、町内の20〜40代の男女計8人にグループインタビューを行い、その内容をまとめ、本町の地域特性やつながりな

小国町の

医療現場を見て

どといった視点から、さまざまな考察をされています。

五十嵐さんに、実習や研究活動を通じて見た本町の医療福祉の体制や取り組みについて伺いました。

「昨年、町立病院で実習をさせていただきました。実習に行き、病院と温身の郷、訪問看護ステーション、健康管理センターがひとつの施設にまとまっていることがすごいと感じました。困ったときに頼れる施設がまとまっていることで、町民にとって身近に安心できる場所があるのではないかと感じました。また、そこで働く医療関係スタッフ同士の情報交換・情報共有が頻繁に行われていて、病院内外の連携が素晴らしいと思いました。こうした連携があるからこそ、切れ目のない医療、看護、介護に結び付いているのではないかと感じました。また、看護師は訪問看護等をしていなければ病院内のみ

仕事をするため、生活者の視点での患者さんの様子を感じられなくなる可能性があります。また、まちかど医療相談室のように看護師が地域に出てその人の日常生活の話などを聞くことで、病院内では知り得ない住民生活の実情が見え、生活者の視点でさまざまなアドバイスもできていくのではな

ないでしょうか。これは、地域の中でお互いが顔の見える関係にあるからこそできる医療福祉の体制なのではないかと思えます。」と話してくださいました。

いかと思ひ、素晴らしい取り組みだと感じました。さらに、小国町の地域性なのかもしれませんが、住民同士に顔の見える関係がありますし、看護師のかたも町内に住んでいることもあり、看護師と患者さんも顔の見える関係にあるのも特徴的だと思います。高齢者が住み慣れた地域で元気に生活できるように、医療職のかたがたがそれぞれの専門性を発揮しながら、1人の人を支えるため多くの人が連携して動いていて、その人だけのその人にしかない生活を支え合う関係ができてい

全国的に高齢化が進む中で、高齢者を地域全体で支えていく仕組みづくりが急務となっています。本町においては、高齢化は全国に先んじて進行しており、こうした中でこれまでさまざまな取り組みを展開してきました。

五十嵐さんが町立病院や健康管理センター、訪問看護ステーションなどでの実習を通して体験した、本町の医療福祉の体制や取り組みは、どのような展開がされているのかを紹介いたします。

まず、高齢社会の実態を見てみましょう。我が国は、世

超高齢社会ニッポン

界に類を見ないスピードで高齢化が進行し、2010年に「超高齢社会」に突入しました。これは65歳以上の人口が、全人口に対し21%を超えた社会のことで、世界保健機構(WHO)が定義しています。

厚生労働省の推計では、65歳以上の高齢者人口は、2025年に3657万人、2042年には3878万人となつてピークを迎えると予測されています。

一方で、平成30年4月1日現在の本町の人口は7680人で、そのうち65歳以上のかたは2958人となつています。高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口の割合)は、38.5%で、3人に1人が高齢者という人口構造になっています。また、高齢者世帯(世帯構成員が65歳以上のみで構成される世帯)は905世帯で年々多くなつており、そのうち高齢者の1人暮らしは459世帯と、実に半数以上

	S50	S60	H7	H17	H27	H30
総人口	12,649	12,096	11,023	9,893	8,195	7,680
65歳以上人口	1,158	1,795	2,497	3,024	2,930	2,958
一人暮らし高齢者数	-	-	172	306	418	459
高齢化率	9.2%	14.8%	22.6%	30.6%	35.8%	38.5%

▲高齢者人口の推移 (各年度4月1日時点) (健康福祉課調べ)

にも及んでいます。さらに、年を重ねたことで、病気やけが、運動機能が低下し、家事や身支度など日常生活を送る上で支援が必要なかたや、常に介護が必要なかた(介護保険制度上「要支援」や「要介護」に認定され

るかた)も増加している傾向にあります。

こうした中、団塊の世代と呼ばれるかたがたが75歳以上の後期高齢者となる2025年には、医療や介護のニーズがより一層増大することが予想されています。また、認知症を患う高齢者の増加も見込まれています。

このため、厚生労働省では2025年を目途に、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービスを提供できる「地域包括ケアシステム」を構築していくことをすすめています。

地域包括ケアシステム

本町では、平成11年に小国町立病院を移転改築しました。これに合わせて、本町の地理的条件や人口規模などに見合った保健・医療・福祉・介護

の一体的なサービス提供を確保する独自の地域包括ケアシステムを構築すべく、各施設の整備を計画的に進めてきました。

具体的には、町立病院を拠点とし、健康管理センターや介護老人保健施設温身の郷を整備し、隣接する特別養護老人ホームさいわい荘や老人福祉センターと合わせて、空間と機能が一体となった包括ケアタウン「癒しの園」をつくるというものです。

また、施設面だけではなく、サービスを提供する事業所や職員、ケアマネジャーなど、1人の高齢者に携わる人たちが連絡調整会議を開催するなど、常日頃からネットワークを広げて情報交換・情報共有を図り、効果的なサポートができるソフト面の体制づくりとサービスの充実に努めています。



▲癒しの園の中心となる町立病院と健康管理センター

まちかど医療相談室

小国町立病院では、白い森ショッピングセンターアスモ内の街なかほっとコーナーで毎週木曜日の午後2時から4時までの間、「まちかど医療相談室(以下「相談室」とい

う。)」を開催しています。これは、町民のかたが、妊娠、出産、子育て、生活習慣病予防や看取りなどにおいて抱えている心や身体についてのさまざまな心配事を、看護師へ気軽に相談してもらう場です。

病院にはなかなか行けないという人でも、日常生活で困っていることや心配事など、さまざまな相談や自身の健康チェック、介護予防体操などができる場として、平成27年6月から始まりました。相談室には、町立病院看護師のほか、栄養士や作業療法士、時には研修医なども参加しており、日ごろの疑問や悩みを解決することができる場にもなっています。

けがや病気がなければ病院に行くことはないかもしれませんが、一度病気やけがをした時、何科を受診したらいいのか、どんな治療をされるのか、自分の体で気になる症状

やっぱり何よりみんなの顔を毎週見て話をできるから楽しみにしてるのよ。」と話してくださいました。

地域サロン

本町における一人暮らし高齢者の割合は約15%で、これは県内でも高い水準となっています。一人暮らしの高齢者は、家に閉じこもりがちになるおそれがあります。

これを解消するため、町内各地で、高齢者が集まり交流する「地域サロン」が定期的に開催されています。自分の状況に見合った適度の運動を行いながら、地域住民同士が触れあうことで、介護予防や閉じこもりの防止、さらには生きがいづくりにつながってもらうことを目指しています。

北部地区や東部地区では、地域おこし協力隊員が地域サロンの開催を含めた高齢者の

見守りや居場所づくり、生活支援活動などさまざまな活動を展開しています。

北部地区では、野口達光隊員が旧あさひ保育園を拠点に、「北部ん家」と称したお茶飲みやワナゲ大会、本町を取り上げた映像の上映などを開催しています。

一方、東部地区では、根本俊輔隊員が水源の郷交流館ほたるを拠点にして、地域のかたがたと連携・協力しながら高齢者のかたがたを対象にした「お楽しみ会」を開催しています。

さらに、2地区合同のサロンも開催されています。各地域の良さや高齢者のかた同士



▲北部地区と東部地区の合同サロンの様子（旧あさひ保育園）

の新たな交流などが生まれ、新たな活力を生み出すきっかけにもなったようです。

人と人、人と地域のつながりがあるから

先に紹介した五十嵐さんは、卒業研究論文で「小国町

の小さく密なコミュニティは、『町の生活における不満』として感じるものがあっても、町民の生活を支える、町に無くてはならないものであると考えられる。」と述べています。

「最近〇〇さん見えねな。」「〇〇さん〇〇に行ってるみたいよ」。こんな日常会話がある地域が、本町には多くあります。そこに住む住民同士が常に顔の見える関係にあり、気にかけている。こうした地域性が土台となり、医師や看護師、ケアマネジャーなどの医療・介護・福祉に携わるかたがたの連携が密に行われていることで、小国独特の医療福祉の仕組みがあるのではないのでしょうか。

町では、地域住民や医療従事者などが連携しながら、多くの高齢者のかたがたが「いつもの場所」で、いつまでも元気で「暮らせる町の実現を目指す」といえます。



12月20日
総合センター

犯罪のない明るい地域に ～防犯広報作品コンクール表彰式～

平成30年度小国町防犯広報作品コンクール表彰式が、12月20日、おぐに開発総合センターで行われました。

今年、防犯ポスターと防犯標語計434点の応募の中から防犯ポスター3点、防犯標語6点が小国町防犯協会長賞を受賞しました。また、本コンクールの上位作品を山形県防犯広報作品コンクールに出展したところ、優秀賞を2人、優良賞と佳作がそれぞれ1人受賞しました。



山形県防犯広報作品コンクール受賞作品

【防犯ポスターの部】

小学生の部 優良賞 小国小学校 5年 塚原久仁さん

【防犯標語の部】

小学生の部 優秀賞 叶水小学校 4年 須貝欧右さん 「あいさつで はんざいなくす 街づくり」

小学生の部 佳作 小国小学校 4年 長岡花恋さん 「電話での お金もどるよ それは詐欺」

中学生の部 優秀賞 小国中学校 3年 渡部稜介さん 「犯罪で 消える将来 残る傷」



1月12・19-20日
町民総合体育館ほか

白熱した試合を展開 ～第12回白い森杯バレーボール交流大会～

第12回白い森杯バレーボール交流大会（鈴木正昭大会会長）の小学生大会が1月12日に、中学生大会が1月19～20日に町民総合体育館などで開催され、新潟県や福島県、山形県から小中合わせて30チームが出場しました。

出場した選手たちは、これまでの練習で鍛えたサーブやアタックなどで相手を崩しながら、互いに点の取り合いになる熱戦を繰り広げました。

小学生大会は、おぐにバレーボールスポーツ少年団（山形県）が優勝、南陽西部VBSS Bチーム（山形県）が準優勝、中学生大会は、新津第二中学校（新潟県）が優勝、長井北中学校（山形県）が準優勝という結果となりました。

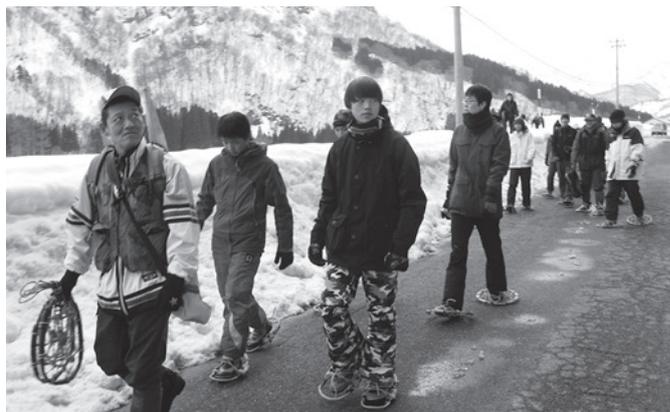
1月11-15日
長者原地区

マタギ文化を体験 ～N高等学校職業体験～

学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校（沖縄県うるま市）の生徒7人が、地域のしごとや生活文化を体験し、学ぶため1月11日から15日まで長者原地区に滞在しました。

滞在期間中、生徒たちは雪中散策やウサギの巻狩り、さいず焼き、伝統菓子のからこや笹巻づくりなどを体験しました。

13日に地元猟友会の方々の指導のもと行われたウサギの巻狩りでは、残念ながらウサギを捕ることはできませんでしたが、滞在期間中に捕れたウサギの解体を見ることができ、参加した生徒たちは、命の大切さを学びました。また、地元の方々との交流を通し、都会にはないさまざまな「暖かさ」に触れたようです。



「小国の冬」
～期待と不安～

series 34

協力隊通信

緑のふるさと協力隊
いわい たくま
岩井 拓磨

皆さんこんにちは。今年の冬は全国的に暖冬だそうですね。地域のかたからも「今年は暖冬だ」、「雪が少なくてよかったな」とお声を頂く事がありますが、初めての雪国、驚く事はたくさんありました。地域のかたにとっては当たり前なのでしようが、日に日に積もる雪を見ると期待と不安を感じました。

期待していることの1つがワカサギ釣りです。私は、釣り自体あまり経験がありません。しかし、小国のワカサギ釣りは初心者でも釣れると聞いていますし、テレビCM「行くぜ、東北。」でもワカサギ釣りのシーンがある。

最近ではインフルエンザも流行しています。私も手洗いうがいをしっかりして予防しています。皆さんもお体にお気を付けてください。

不安としては、地元和歌山県の気温差が10℃もあり、経験したことのない寒さで体調を崩してしまうかということだと思います。雪で体が濡れることも多いので体を冷やさないよう気を付けています。

冬の影響で中止にならない事を祈るばかりです。

り、テレビで見るたびやってみたいなと思っています。この暖冬の影響で中止にならない事を祈るばかりです。

▲自宅前での雪かきの時の一枚

技

を 緋なう 〜人と道具の物語〜 その⑨

カンジキ（輪カンジキ）はこの雪国おぐにの暮らしにおいて古くから欠かすことのできない生活必需品です。道路の除雪体制が格段に良くなり、また、除雪機や道具の発達した現在でも備わっていれば、万が一の時でも安心であるに違いありません。しかし、その一方で、材料を自分で山から採ってきて、カンジキを作ることのできる人は少なくなっているようです。



▲安部 幹雄氏

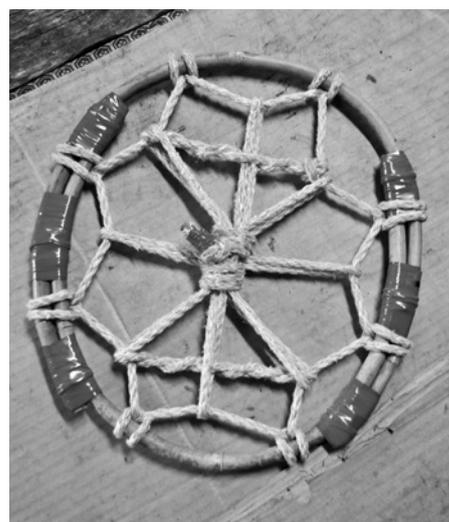
「昔は、近くにカンジキ作ってる人がいて、その人から買ってたんだも、学校上がって（卒業して）炭焼きするようになってからは、これなら俺でも曲げられる（作られる）かなと思って。それから作り始めたんだ。」そう話すのは、半世紀以上もカンジキを作り続けてきた古田の安部幹雄さん（昭和11年生まれ）です。そのカンジキはきれいに紐が編まれ、見た目が全て整っています。今回は、そうしたカンジキを作り出す安部さんの「技」について紹介したいと思います。

安部さんが作ってきたのは主に、複輪型（前後2本の材を組み合わせたもの）でまん丸のもの（通称、丸カンジキ）と楕円形のもの（ツボカンジキ）の2種類

です。ただし、かつて古田集落には丸カンジキはなかったそうです。

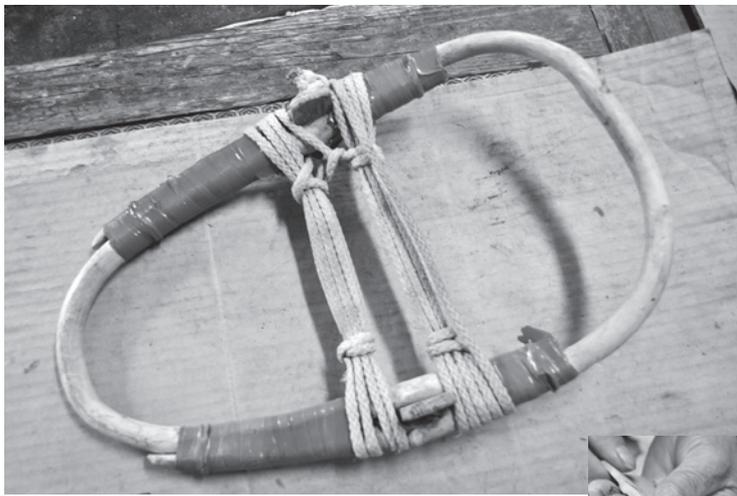
「これ（ツボカンジキ）は、こっちでは道踏みカンジキって

言っよ、家から出るのに、雪踏み固めて階段をつけねばなんねかった時代、これ履いて、道踏みしたもんだ。その頃は、こころでは、こっちばかりだったな。だけど、昭和30年代の後半頃だな、町の友人とウサギ巻きに行ったら、その人は大きい丸カンジキ履いてて。全くぬかぬねえでぼんぼん歩いて行くんだ。その後ろついて行ったら、とにかくぬかるんで、ひどくて。それ見て、丸カンジキ1足を、その人がくれてよ。それからしばらくはそれ履いてたけど、そのうち俺も作るようになったん



▲丸カンジキ（安部さん作製）
結び目がある方を下面にすると、結び目がツメの役割を果たし、滑りにくくなるという。

だ。ただ、最初、縄（紐）掛けだけは分かんなくて。それで、その人のとこに行って、一晩じっくり習って、覚えてきたぞ。これだけは、いくつも自分で作らねえと身につかぬえもんだ。」
安部さんは、丸カンジキはネマガリダケで、ツボカンジキはビシャガラ（標準和名アブラチヤン）という木で作ります。クロモジでもツボカンジキを作ってみたことがあるそうですが、ビシャガラのほうが軽くていいと言います。落葉する頃に山へ行って伐ってくるそうですが、最近は燃料材として柴木を伐採しなくなったため、木々が太くなってしまい、良い材があまり見当たらないとも言います。



◀ツボカンジキ

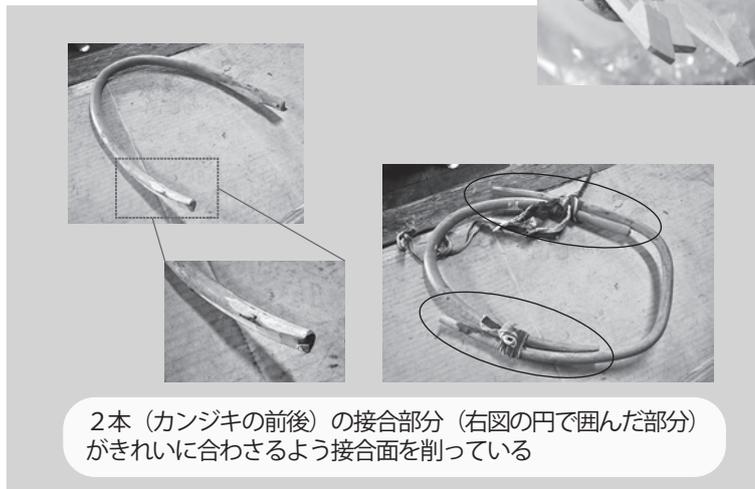
(安部さん作製)
傾斜地でも歩きやすくするため、後ろは太めの木を、前は細めの木を使い、後ろが重くなるようにする。また、前後で微妙に反らしており、その加減が非常に難しいという。



◀カンジキのツメ
イタヤカエデの生木が一番細工しやすいとのこと。

採ってきた材は、冬まで水に浸け、乾かないようにしておきます。そして、雪が積もると、それらを曲げてカンジキを組み立てるのです。以前は、火であぶり、あるいは湯で煮て柔らかく

かくした材を手で押し曲げてから、木の板などで作った型にはめて、くせをつけるようにしていたのですが、なかなか上手くいかなかったと言います。ところが、ある時、そばの雪面に曲げた材を押しつけて急激に冷やすと、きちんとかくせがつくことを発見したそうです。
カンジキ作りで安部さんがとくにこだわっているのは、2本の材がきれいに合わ



2本（カンジキの前後）の接合部分（右図の円で囲んだ部分）がきれいに合わさるよう接合面を削っている

さるようになることです。タケであれば、それぞれの節がなるべくそろうよう、使う部分を見定め、曲げていきます。ツボカンジキであれば、接合部分がうまく合わさるように曲げ、さらに接合面を削って、ぴたっとくっつくようにします。そのようにした方が美しいだけでなく、丈夫で壊れにくくなるからです。また、丸カンジキの紐も、きれいなだけでなく、機能的に編まれてもいるのです。もし、これよりも粗ければぬかりやすく、逆にもっと細かく編むと、雪が多く乗ってしまい歩きづらくなるそうです。それに加えて、紐がより緩みにくく、また、緩んだ場合、簡単に締め直すことができるようにと、いろいろ試行錯誤を繰り返した結果、この編み方になったのだと言います。安部さんが作るカンジキには、そうした使うなかで洗練されてきた機能が備わっているのです。



▲材料のネマガリダケを見定める安部さん
2本を見比べ、それぞれの節がなるべくそろうよう、使うところを決める

「俺、自分で作れっからいろんな大きさのカンジキを作ってみてみたんだ。膝ぐらいいまぬかるむ時は大きいのはほんにいいけど、堅雪ではダメなものだ。今時分の雪だば、これぐらいの大きさがちょうどいいな。」と安部さん。雪質や、使う目的に合わせて最適の、そして機能的なカンジキを作ることのできる、しなやかな手わざの世界。それは自然との関わりに深みや広がりをもたらすものであり、小国での暮らしにおいて、これからは大切にしていってほしいものではないでしょうか。

奨学金の貸与を受けている若者の本町回帰を支援します

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施いたします。

■**対象者** 次の要件すべてに該当する者

- ①町内に居住し、県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を今年度卒業見込みである者、または卒業した者
- ②国内に所在する大学等に平成31年度に在学、または進学予定の者
- ③日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けている、または受ける予定である者

■**助成内容**

大学等を卒業後、6カ月以内に町内に居住して県内に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、奨学金返還残額に対して助成します。

※上限額があるほか、この他にも条件がありますので、応募の際にはお問い合わせください。

■**応募期間** 平成31年2月20日(水)まで

■**問合せ・応募先** 総務企画課政策企画担当 (☎62-2264) へ

平成31年度 小国町日々雇用職員の登録受付について

町では、日々雇用職員として役場での勤務を希望するかたの登録を受け付けます。

- 職種** 一般事務補助員、一般技術補助員、自動車運転手、学校用務員等
- 勤務時間** 月曜日～金曜日、8：30～17：00（職種により異なる場合があります。）
- 登録方法** 「小国町日々雇用職員登録申請書」を総務企画課に提出してください。
- 申請書** 町ホームページまたは総務企画課で配布しています。
- 採用** 登録されたかたの中から選考を行い採用します。ただし、全てのかたが採用されるとは限りません。
- 登録締切** 2月15日(金)（年度途中の登録については、これ以降も随時受付します。）
- 問合せ先** 総務企画課行政管理担当 (☎62-2112) へ

小国町水資源保全地域に係る 指定予定地域の告示・区域図の縦覧

山形県では、水資源を保全するため、土地取引等や開発行為の事前届出が必要になる水資源保全地域の指定を行う予定です。これに伴い、指定予定の民有林の区域図を縦覧します。期間中、住民のかたおよび利害関係者は意見書を提出することができます。

- 縦覧場所** ①県庁環境企画課 ②置賜総合支庁環境課 ③小国町役場産業振興課
- 縦覧期間** 2月22日(金)～3月8日(金)
- 問合せ先** 山形県庁環境企画課 (☎023-630-3043) へ

山形県議会議員選挙の 立候補届出予定者説明会および 出納責任者説明会の開催について

平成31年4月7日執行予定の山形県議会議員選挙（長井市・西置賜郡選挙区）の立候補届出予定者説明会および出納責任者説明会が次のとおり開催されます。

- 期 日** 3月5日(火)
- 時 間** 午前10時00分～
- 場 所** 置賜総合支庁本庁舎2階講堂（米沢市金池7-1-50）
- 問合せ先** 山形県選挙管理委員会置賜地方事務局 (☎0238-26-6100) へ

入札結果情報（平成30年12月21日～平成31年1月20日実施）

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期 (完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H30.12.25	平成30年度叶水地区耐震性貯水槽40m型整備工事	叶水	H31.3.15	7,329,000	遠藤建設(株)	7,300,000
H30.12.25	平成30年度大宮地区耐震性貯水槽40m型整備工事	大宮	H31.3.15	7,386,000	斎藤建設(株)	7,350,000

※公共工事の入札結果は、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき公表します。なお、消費税及び地方消費税を含みません。

ふるさとを応援したい

先月の17日から22日まで、東京都台東区の「ふるさと交流ショップ台東」に出店してきました。「ふるさと交流ショップ台東」とは、台東区が友好都市をはじめとした全国各地の自治体に、特産品販売や観光案内、移住促進PR等をするためのショップを提供しているもので、商店街への誘客や、地方と都市の交流を目的としています。

小国町は今回が初めての出店で、きのこや山菜の加工品、お米や雑穀、やまがた地鶏、もちや漬け物にお菓子、つる細工など、白い森おぐにの特産品をたくさん持っていきましたが、初日から、商店街のかたや近所のかたなど、予想よりも多くのお客様にお越しいただき、大変賑わいました。遠くから駆けつけてくださった小国出身のかたや、「ふるさと（地方の田舎町）を応援したいから」「懐かしくて美味しかったから」と毎日のように来てくださるご近所さんなど、6日間で述べ800人を越えるお客様に足をお運びいただき、ふるさとへの想いの深さを感じることができました。

また、今回の出店期間中には、白



▲ふるさと交流ショップでは多くのかたに
来場いただきました

い森まるごと体験ツアーを企画している日本食べるタイムスの学生もお手伝いに駆けつけてくれました。日本食べるタイムスや域学連携事業でつながりのある学生は、都内でイベントがあるときにはいつも顔を出してくれて、小国の取り組みを応援してくれています。

都会に住むかたがたのふるさとを応援したいという想いに感謝し、その想いを小国町の力として、白い森おぐにがみんなの『ふるさと』になってもらえるよう、私たち一人ひとりがふるさとを大切にし、外から応援してくれるファンを増やしていきます。

白い森おぐにビジネスプランコンテスト

ニュース プレゼンテーションイベントを開催します！

町民の皆さんから応募があった起業・創業ビジネスプラン・アイデアを発表する「プレゼンテーションイベント」を開催します。ぜひ会場で熱い思いを聞いてみませんか。

■日時 平成31年2月16日（土）午後1時～

■場所 おぐに開発総合センター集会室

■その他 優れたプランには賞金のほか、様々な支援を予定しています。

会場へお越しの皆さんにも投票していただき、「オーディエンス賞」を決定します。お楽しみに。

町・県民税申告相談のお知らせ

平成31年度（平成30年分）の町・県民税申告相談を行います。申告期限は3月15日（金）までとなっていますので、忘れずに申告してください。なお、申告には個人番号（マイナンバー）の記載と本人確認（個人番号と身分の確認）が必要です。

■町県民税申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「平成31年1月1日現在で、小国町に居住されているかた」です。ただし、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。

▶税務署に確定申告書を提出したかた

▶年末調整済みの給与収入のほか収入のないかたなど

※申告書が送付されていないかたでも、平成30年中に収入があったかたや年末調整済みの給与以外に所得があったかた、各種所得控除を受けたいかたなどは、申告の必要があります。

■平成30年中まったく収入がなかったかたは？

申告書の職業欄に「収入なし・学生等」、所得金額の合計欄に「0」を記入し、氏名欄に押印の上、提出してください。特に次のようなかたは忘れずに申告してください。

▶国民健康保険加入者または加入予定者およびその世帯主

▶後期高齢者医療保険加入者およびその世帯主

▶介護保険加入者およびその世帯主

▶国民年金免除申請をお考えのかた

▶所得や税関係の証明書が必要なかた

※障害年金や遺族年金は、町・県民税の算定には含まれないため、申告する収入、所得金額に記載しないようにご注意ください。この収入のみの時は、収入なしと申告してください。

■申告に必要なもの

- (1) 申告書および印鑑
- (2) 個人番号カードまたは番号確認の書類と身元確認書類（ご自分で記載した申告書を郵送または窓口で提出する際は、それぞれの写しが必要です。）
 - ◇個人番号カード（マイナンバーカード）をお持ちのかたは個人番号カード（顔写真入）
 - ◇個人番号カードをお持ちでないかたは①および②の書類
 - ①番号確認の書類…個人番号通知カード等の個人番号を確認できる書類
 - ②身元確認書類…運転免許証、公的医療保険の被保険者証等の本人確認できる書類
- (3) 収入と支出が確認できる書類
 - ◇給与・公的年金所得…平成30年分の源泉徴収票
 - ◇営業・不動産所得…収支内訳書、売上や仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など
 - ◇農業所得…収支内訳書、農産物の出荷伝票、仕切書、領収書、借入金利子証明書、新しく購入した農機具などに関する書類、補助金、交付金、保証金等の収入が確認できる書類、取扱い通帳など
 - ◇雑所得・一時所得…支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類
 - ◇譲渡所得…売買契約書や経費の領収書、公共事業による売買の場合は3枚組の収用証明書
- (4) 所得控除を受ける場合に必要な障害者手帳、障害者控除対象者認定書等の各種証明書や領収書、支払金額を証明する書類など
- (5) 通帳など申告者本人の口座が確認できる書類

2月5日(火)は「収入が年金のみ」のかたの相談日です。

年金以外に収入があるかたは、地区の相談日等にお越し下さるようご協力をお願いします。

平成31年度分 町・県民税 申告相談受付日程

月 日	相談会場	午前		午後	
		受付時間	対象地区	受付時間	対象地区
2月5日(火)	役場大会議室	9時～11時	全地区(年金収入のみのかた対象)	1時～4時	全地区(年金収入のみのかた対象)
2月6日(水)	役場大会議室	9時～11時	小国町1・2	1時～4時	坂町1・2
2月7日(木)	役場大会議室	9時～11時	緑町1	1時～4時	緑町2
2月8日(金)	役場大会議室	9時～11時	駅前1・2	1時～4時	栄町1・2
2月12日(火)	役場大会議室	9時～11時	上岩井沢	1時～4時	幸町2
2月13日(水)	役場大会議室	9時～11時	本町3、幸町1	1時～4時	本町1・2
2月14日(木)	役場大会議室	9時～11時	地蔵町	1時～4時	坂町3・5
2月15日(金)	役場大会議室	9時～11時	町原	1時～4時	東原
2月18日(月)	役場大会議室	9時～11時	あけぼの	1時～4時	松岡
2月19日(火)	役場大会議室	9時～11時	旭町、小芦	1時～4時	北、西
2月20日(水)	役場大会議室	9時～11時	綱木箱口	1時～4時	伊佐領
2月21日(木)	役場大会議室	9時～11時	平林	1時～4時	増岡
2月22日(金)	役場大会議室	9時～11時	種沢	1時～4時	大滝
2月24日(日)	役場大会議室	9時～11時	休日相談	1時～4時	休日相談
2月25日(月)	役場大会議室	9時～11時	岩井沢2	1時～4時	岩井沢1
2月26日(火)	役場大会議室	9時～11時	兵庫館1	1時～4時	兵庫館2
2月27日(水)	役場大会議室	9時～11時	田沢頭	1時～4時	大宮、宮の台
2月28日(木)	役場大会議室	9時～11時	今市	1時～4時	館
3月1日(金)	役場大会議室	9時～11時	小渡	1時～4時	若山、古田、金目
3月4日(月)	役場大会議室	9時～11時	尻無沢	1時～4時	舟渡
3月7日(木)	梅花皮荘	9時30分～11時	小玉川、泉岡	1時～3時30分	長者原、玉川中里
3月8日(金)	水源の郷交流館	9時30分～11時	上叶水、下叶水	1時～3時30分	緋、河原角、上大石沢、下大石沢
3月11日(月)	玉川コミュニティセンター	9時30分～11時	玉川、玉川新田	1時～3時30分	中田山崎、片貝
3月12日(火)	足中克雪センター	9時30分～11時	足水中里、樽口	1時～3時30分	足野水、市野沢、百子沢
3月13日(水)	旧白沼小中	9時30分～11時	白子沢、桜沢、間瀬、明沢	1時～3時30分	沼沢1・2
3月14日(木)	越中里公民館	9時30分～11時	越中里、長沢	1時～3時30分	六ヶ字
3月15日(金)	りふれ	9時30分～11時	三ヶ字、石滝	1時～3時30分	五味沢

申告に関する相談が必要な場合は、できるだけお住いの地区相談日にお越し下さるようご協力をお願いします。なお、お住いの地区相談日にご都合がつかないときは、他の地区の相談日にお越しいただいても差し支えありませんが、休日相談日や最終日など日によって混み合う場合もありますのでご了承ください。

3月5日(火)、6日(水)は、出先相談会場に向けたシステムの切り替えのため、申告相談ができませんのでご注意ください。

～申告期限は3月15日(金)です～

■問合先 町民税務課税政管理室 (☎62-2403) へ

募集

町営住宅入居者募集

- ① 町営住宅小坂町団地
3DK 2戸(3・4階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ② 町営住宅あけぼの高齢者団地
1DK 1戸(1階)
1LDK 1戸(1階)
- 家賃 所得と家族構成による
- 対象
- ▽世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた
- ▽60歳以上で自立した生活を送ることができるかた。1LDKの場合は、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること
- ③ 小坂町勤労者住宅
2DK 1戸(3階)
- 家賃 38000円
- 対象 町内事業所にお勤めのかた
- ①②③共通
- ◎敷金 家賃の3カ月分
- ◎募集期限 2月12日(火)
- ◎入居時期 2月下旬以降

県営住宅入居者募集

◎問合先 地域整備課建設管理室 (☎62・2431)へ

- 募集住宅 3DK 10戸
- 家賃 所得により決定
- 対象 入居世帯の所得制限あり
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期間 2月4日(月)～2月8日(金)
- 入居時期 3月下旬
- 申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市) 総合案内窓口
- 問合先 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所(☎0238・24・2332)へ

自衛官等募集のお知らせ

- 募集種目
 - ① 自衛官候補生(男子・女子)
 - ② 予備自衛官補(一般・技能)
- 応募資格
 - ① 18歳以上33歳未満の者
 - ② 18歳以上34歳未満の者(一般・18歳以上(技能))
- 受付期間

お知らせ

長井税務署 確定申告期のお知らせ

- ① 1月19日(土)～2月8日(金)・2月9日(土)～3月5日(火)
- ② 4月12日(金)まで
- 試験日
 - ① 2月16日(土)・3月9日(土)
 - ② 4月下旬
- 問合先 自衛隊米沢地域事務所(☎0238・23・0011)へ

長井税務署では、2月18日(月)から長井税務署内申告書作成会場を設置します。

- 開設期間 2月18日(月)～3月15日(金)(土日除く)

※申告書作成会場は大変混雑し、長時間お待ちいただく場合があります。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」もぜひご利用ください。

※譲渡所得や贈与税については、担当者が不在になる日もありますので、事前に電話にて確認をお願いします。

ご案内

■問合先 長井税務署(☎0238・84・1810)へ

天皇陛下御即位30年をお祝いする記帳所の設置について

天皇陛下御即位30年をお祝いする記帳所を次のとおり設置します。

- 設置日時 2月24日(日) 8時30分～17時
- 設置場所 役場2階ロビー

米沢養護学校 「米養高等部バザー冬」

- 日時 2月19日(火)～21日(木) 10時～11時30分
- 場所 米沢市役所1階市民ホール・すこやかセンターロビー
- 内容 米沢養護学校高等部の作業学習で制作した製品(石けん、皿、布小物など)の販売
- 問合先 山形県立米沢養護学校(☎0238・38・6101)へ

2月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 2月22日(金)
- ・受付時間 13:05~13:10
- ・対 象 平成30年10月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 2月22日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成30年2月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 2月13日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成28年6月、7月、8月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■2月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金 (平日のみ)	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
	22日(金)午後はお休みです。		
子育て講座「絵画製作」	2月28日(木)	9:30~11:30・子育て支援センター	

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

2月3日(日)	白鷹	五十嵐歯科医院	0238-85-2075
2月10日(日)	米沢	鈴木歯科医院	0238-23-0370
2月11日(月)	南陽	板垣歯科クリニック	0238-50-3348
2月17日(日)	米沢	三條歯科医院	0238-23-2206
2月24日(日)	南陽	いとう歯科クリニック	0238-50-0418

求 人 情 報

右の表は1月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
特定非営利活動法人まんまる	一般事務員	1人	8:30~17:00
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~16:15他
おぐに白い森(株)	医療事務、応接員	各1人	8:30~17:15他
(株)高橋工務店	土木技術者(見習い可)、建築技術者(見習い可)、現場作業員	各2人	8:00~17:00
荒川興業(株)	経理事務、製造加工、製造加工【モーター用ブラシの加工】、製造加工【アークカーボン加工】	計8人	8:20~17:10他
山和建設(株)	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】、二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】、事務員	計7人	8:00~17:00他
遠藤建設(株)	一般作業員、重機オペレーター、土木施工管理技士	計4人	8:00~17:00
社会福祉法人 小国福祉会	介護員、介護員【年度更新】	各1人	6:30~15:30他
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
クアーズテックマシナリ(株)	技能職	2人	8:20~17:10
(株)山芳工務店	電気設備工	3人	9:00~18:00
長谷川工業(株)	マシニングオペレータ	2人	8:30~17:00
(株)横川建設	配送運転手、営業(見習い可)、事務員、現場管理(1級または2級土木施工管理技士)、作業員、自動車整備工、重機オペレーター見習い	計9人	8:00~17:00
斎藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
医療法人社団緑愛会満天の家	介護職(交代制)	1人	6:45~15:45他
太平ビルサービス(株)置賜営業所	(請) 日常清掃業務『小国町』	1人	9:00~11:00
(有)白い森よこね物産品直売所	販売および調理スタッフ、清掃員	計3人	9:00~18:00の間の5時間程度他
ヤマト運輸(株)長井支店	集配ドライバー	2人	8:30~11:30他

※先月号掲載分以降に新規に登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2019.2

2月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●2月26日(火) 水道料

●2月28日(木) 国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

2月の あいべイベント 「ゴルフ教室」



- 日 時 2月23日(土)18:00～20:00
- 対象者 どなたでも
- 内容 初心者のかたは基本から指導します。経験者は今シーズンに向けての練習会。
- 持ち物 室内シューズ、飲み物、ゴルフクラブなど（ないかたはお貸しします。）
- 参加費 1人100円（保険込）
- 申込・問合せ先 **おぐにYui**
スポーツクラブ
(☎62-5808)

☆☆☆お知らせ☆☆☆

特定非営利活動法人おぐにスポーツクラブYuiでは、地区やサークルの健康教室のお手伝いをしています。お気軽にご相談ください。

第24回雪の学校

- 日 程 3月2日(土)～3日(日)
- 内 容 マタギと森のハイキング、火まつり、交流会
- 定 員 50人（最小催行人員20人）
- 参加費 大人・中高生16,000円、小学生以下8,000円
- 宿泊場所 白い森交流センターりふれ
- 持ち物 防寒着上下、長靴、長靴カバー、手袋など
- 問合せ 「雪の学校」実行委員会（おぐに白い森㈱）
(☎62-4518) へ

おぐにスノートレック

スノーモービル乗車体験や雪を使ったレクリエーションで小国町の冬を一緒に楽しみましょう！

- 日 時 2月10日(日)9:00～15:00
- 場 所 小国町民総合スポーツ公園
- その他 ヘルメットをお持ちください
- 参加費 大人1,000円、子ども500円（保険料含む）
- 問合せ 小国町商工会青年部事務局（小国町商工会内）
(☎62-4146) へ

総合センター 図書室から

～新着図書～

	休館日	毎週月曜日・祝日
◇カラス学のすすめ	杉田	昭栄
◇山怪	田中	康弘
◇薺女 芸道の軌跡	鈴木	昭英
◇すぐ死ぬんだから	内館	牧子
◇スポーツで創る地域の未来	ス	ポーツ庁

相 談

▽年金相談

- 日 時 2月20日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- その他 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

スノートレッキング& メープルサップ体験

- 日 時 3月9日(土)9:00～15:00
- 場 所 神明山公園、経塚山周辺
- 集合場所 おぐに開発総合センター9:00集合
- 定 員 先着20人
- 対 象 雪山初心者向け、小学生中学年～大人
- 申込締切 3月1日(金)
- 参加費 2,500円（案内料・保険料ほか）
- 持ち物 スノーウエア、長靴または雪山用登山靴、帽子、手袋、防寒着、昼食、飲み物、空のペットボトル、かんじきまたはスノーシュー（貸出可）
- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊（☎62-5955）へ

マタギの里小玉川雪まつり

- 日 程 3月9日(土)～10日(日)
- 内 容 [場所：旧小玉川小中学校周辺]
9日 さいず焼き準備、季政美コンサート
さいず焼き、交流会
10日 スノートレッキング
雪の中の大冒険
- 定 員 20人（スノートレッキング）
- 参加費 スノートレッキング2,000円、全日程参加者4,000円、雪の中の大冒険は無料（スノーモービル乗車体験のみ500円）
- 申込締切 3月5日(火)（スノートレッキングのみ）
- 申込・問合せ先 小玉川地区自整協（☎/FAX64-2008）へ
※電話の受付は(火)休と金曜午前のみとなります。



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理室・管財危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264 ●会計室 ☎62-2406
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821 ●商工観光室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(1 2 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

大 滝 佐 藤 ^{すばる} 昂 (歩 惟)

おくやみ申し上げます。

- 岩 井 沢 伊 藤 く に (91)
- 緑 町 渡 部 繁 (88)
- 田 沢 頭 大 法 良 典 (90)
- 小 国 町 加 藤 利 雄 (82)
- 岩 井 沢 小 野 太 見 男 (92)
- 越 中 里 舟 山 シヅ子 (92)
- 宮 の 台 齋 藤 嘉 美 (72)
- 小 玉 川 本 間 愛 子 (91)
- 東 原 小 椋 郁 夫 (86)
- 石 滝 今 金 一 (91)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成30年12月31日現在)

人口	男	3,788人	(+ 3)
	女	3,824人	(± 0)
	計	7,612人	(+ 3)
世帯数		3,076世帯	(+ 8)

編集後記
 今年も小中高生のスキー授業が始まりました。私は土曜日のスキー教室に行ってもたは元気がいい、やる気は満々。1回リフトに乗るだけで、子どもたちの滑りは様変わり。教えているのは「ゆっくり滑ること」と「曲がること」の2点だけ。私も中学生まで毎日のようにスキー場に通いました。上手になるにはとにかくたくさん滑ることを。この恵まれた環境を活かしてスキー愛好者が増えるといいなと思っています。(斎藤)

仕事 vol.9 図鑑

長谷川工業株式会社

代表者 代表取締役社長 長谷川 正洋
 従業員数 37人
 所在地 小国町大字小国小坂町520番地
 事業概要 半導体製造工程に使用されるカーボン製品、炭化珪素製品の製造加工

長谷川工業(株)に勤務する佐藤良樹さん(小国小坂町)。佐藤さんは、米沢工業高校機械科を卒業後に入社して6年目。昨年5月に炭珪加工部溝切グループのリーダーとなり6人のグループをまとめているほか、今年1月には社内親睦会幹事になるなど、年々社内での重要なポジションを任されているそうです。佐藤さんは、半導体製造工程に使用される炭化珪素製品の溝切加工を担当しており、「新製品の図面を見てどのように加工するかを考えたり、製品によって寸法が異なるため製品に合わせた値を計算して機械をセッティングしたりするのが難しいですが、三角関数など高校で学んできたさまざまなことが仕事の役に立っています。機械加工ですので、機械へのセッティングなど段取りが重要になります。そうした段取りを確実にやり、加工を始められたときにはほっとします。社内行事で夏にバーベキューをするのですが、毎年それが楽しみですね。」と話してくださいました。

同社は新潟市に本社があり、小国工場は羽越水害を機に稼働を開始し、半導体製造に必要な製品をつくり続けて50年。40人ほどのアットホームな「ものづくり」工場です。同社の製品は、パソコンやスマートフォンに入っている半導体の製造工程で使用されており、特殊な材料を扱う仕事ですが、加工は機械で行うため先輩社員も未経験者が多かったそうです。同社は、より便利で一層豊かな社会になるよう、社員一同確かな「ものづくり」を通して小国町から社会に貢献しています。



▲製品に溝を入れる機械を操作する佐藤さん

無言の語り部たちⅡ

その⑩

「三宝荒神」(町原)

国道113号町原地内のコンビニエンスストア向かいの山腹に稻荷神社があります。その境内に馬頭観音や庚申塔とともに「三宝荒神」像が鎮座しています。

荒神は民家の代表的な屋内神でかまどの神様として祀られています。しかし、もとも



▲町原地内稲荷神社境内にある石塔群

とは仏教守護神で、正しくは「三宝荒神」といい、仏法僧の三宝を守護する神であるとされます。不浄をきらう強い性格であることから「火の神」として、日本古来の「かまど神」と結びついて全国的に祀られるようになったのです(『小国の信仰』より)。こうしたほか、子どもの好きな神、農作の神、盗難除けの神、牛馬の神ともいわれ、さまざまに信仰されてきました。

町原にある三宝荒神像は、長年の雨風にさらされ続けてきたため、顔はほとんど見取ることができませんが、三面あったことは分かります。

『小国の信仰』によると「荒神は室内神として火所(自在鉤やカマドの側)に『火伏せの神』として祀られる外、集落神として町原、中田山崎、



▲町原地内の三宝荒神像

黒沢(個人にて祀る)のように、屋外に祀る地荒神とがある。三宝荒神の祓(はら)え清めを「荒神祓い」といって山伏が巡回奉仕したが、最近はその土地の法印が担当した。町原の三宝荒神は同村の法印大寿院によって「荒神祓い」が行われた。」とあり、この三宝荒神が町原を火災などから守る地荒神として祀られていたようです。

町原の渡部清司さんは、「俺が小さい時は、今の国道と杉沢に行く道路のぶつかるところのスギの木の下に三宝荒神のほかに3つくらい石があったんだな。それを国道の拡幅か何かの時に今の場所に移動

させたんだな。稲荷様も元は今より下にあつたけど、確か昭和35年頃、今の場所に移したんだな。」と話してくださいました。

高度経済成長以降、日本各地で生活改善が進み、各家の中から「いろいろの火」がなくなりました。また、台所のかまどや七輪もガスや電気コンロになり、「火」の姿は大きく変わりました。しかし、いつの時代も火は「ものごとの源」であり、暮らしにおける重要なものであることは変わりません。「荒神さま」を信仰し、火を大切に崇める気持ちは今後も持ち続けたいものです。